

# ふんしんせいき

白山市国際交流協会 Hakusan International Association

No.35

2023年3月発行

## 「白山市国際若者フォーラム ～白山市から世界につながろう～」開催



▲自身の海外体験を語るパネリストの皆さん

▼熱心に話を聞く来場者



9月24日(土)、松任文化会館ピーノにて、海外親善友好都市とのホームステイ交流経験者が、自身のホームステイ体験やその後の海外経験等について発表する「白山市国際若者フォーラム～白山市から世界につながろう～」を開催しました。

国内外に住む12名の本市ホームステイ交流経験者が、当時の交流の思い出のほか、留学や海外勤務、JICA海外協力隊派遣などその後の様々な海外体験を紹介し、中高生で経験したホームステイ交流が自身の人生に大きな影響を及ぼしたと語りました。

当日は、留学やホームステイに興味のある学生など一般市民60名が参加し、「留学への思いが強くなった」「自分も小さいことでもチャレンジしてみようと思った」などの感想が聞かれました。

コロナウイルス感染拡大以降、海外親善友好都市とのホームステイ交流事業は中止となっていましたが、今回のフォーラムは国際交流の楽しさや意義を改めて実感する機会となりました。

### C・O・N・T・E・N・T・S

- 特集 白山市国際若者フォーラム ..... 1～2
- HIA トピックス 外国人コミュニティーリーダー ..... 3
- 国際交流サロンのページ ..... 4～5
- HIA だより ..... 6
- ホームステイ交流OBコーナー ..... 7
- HIA からのお知らせ ..... 8

# 特集

## 「白山市国際若者フォーラム」開催

### 第一部 体験発表

#### テーマ「ホームステイ交流が人生に与えた影響」

第一部では4名の発表者の皆さんに、自身のホームステイ交流や海外経験について当時の写真と共に発表していただきました。



#### ◀板谷明菜さん(2010年ボストン町派遣生)

田舎育ちだった自分が、海外経験によって多様性を受け入れられるようになった。

#### 徳川 茜さん(2000年コロンビア市派遣生) ▶

当時は特別なことだと感じなかったが、あの時の経験があったからこそ、大人になった今でも新しいことに飛び込める勇気がある。



#### ◀(左) 和田憲慈さん(2004年ボストン町派遣生)

海外に出て当たり前感じていた家族のありがたさに気づいた。

#### ◀(右) 高崎隼人さん(2002年ボストン町派遣生)

ボストン町での交流からグローバルに働きたいという思いが強くなり、留学や海外駐在に挑戦した。ホームステイ交流が人生の原点になっている。

## 第二部 パネルディスカッション

### テーマ「白山市から世界へつながるために」

第二部では、5名のパネリストの皆さんに「ホームステイ交流に応募したきっかけ」から「グローバル時代に語学力は必要か?」などについて、自身の経験や考えをお答えいただきました。



#### ◀松田祥平さん(2012年ボストン町派遣生)

心を開くこと、差別しないこと、受け入れることを大切にすれば、語学力に関係なく国際交流はできる。

#### (左) 板谷芳輝さん(2008年ボストン町派遣生) ▶

様々な海外体験から、日本に住む外国人に対して、外国にいる不安や障害を理解した上で接することができている。

#### (右) 岩村卓弥さん(2000年ボストン町派遣生) ▶

海外で仕事をする上で、自分の仕事に責任を持ち、はっきりと意見を言うことを大事にしている。中学生の時、ホストファミリーにあいまいな返事は良くないと言われたことは今でも覚えている。



#### ◀(左) 浅見愛梨さん(2005年コロンビア市、2007年ペンリス市派遣生)

現在いろいろな国の人と一緒に働いているが、物事を自分の軸で判断できるようになったのも、様々な国際交流で多様性を見てきたからこそだと思う。

#### ◀(右) 吉田裕佳子さん(1996年ボストン町派遣生)

語学力が完璧でなくても失敗をおそれずに話すことが大事。単語が出てこなくても誰かが助けてくれ、その協力のおかげで人間関係が上手くいくこともある。



## 海外在住発表者による動画メッセージ



#### ▲大橋仙斗さん(2014年ボストン町、2016年瀋陽市、2017年ペンリス市派遣生/イギリス留学中)

イギリスのホストファミリーに再会し、関係が長く続くホームステイ交流の良さを実感した。



#### ▲佃雅史さん(1996年コロンビア市派遣生/アメリカ在住)

海外に出ることは「目的」ではなく自分がやりたいことを進めるための「手段」だった。ホームステイ交流によって海外に対する心理的ハードルが下がった。



#### ▲谷野莉子さん(2008年南京市派遣生/フィンランド在住)

日本の外に出ることによって日本の国のありがたさや自分自身について見直すきっかけになる。海外に挑戦したいという気持ちを大切にチャレンジしてほしい。

## 「白山市外国人コミュニティリーダー養成講座」を開催しました

昨年9月から12月の全5回にわたり、石川県国際交流協会と連携し「白山市外国人住民コミュニティリーダー養成講座」を開催しました。

市内の外国人住民の増加に伴い、地域コミュニティから孤立したり行政情報が届かないといったことが課題となっています。そこで、日本の生活情報や地域ネットワークに詳しい外国人住民を「コミュニティリーダー」として育成し、在住外国人と市役所・国際交流協会の橋渡し役として活躍してもらうために実施しました。

講座にはベトナムや中国出身の8名の外国人住民が参加し、白山市の基本情報や、防災、法律などについて学びました。



▲第1回は白山市の外国人人口や文化などについて学びました。白山市の好きな場所を聞くと、獅子吼高原や白山ろく民俗資料館のほか、商店街のお味噌屋さんなど地域住民ならではの意見も出ました。



▲白山市役所を視察。参加者からは、「いつもは1階の窓口しか利用したことが無かったが、いろいろな課を知れて良かった」、「外国人住民から相談があったら一緒に来たい」との声がありました。



▲「防災」がテーマの回では、小松市の防災士の方を講師に迎え、昨年の8月豪雨の際の外国人支援についてお聞きしました。また、100円ショップでそろそろ防災グッズもご紹介いただき、参加者は防災の備えについて意識を高めました。



**8名のコミュニティリーダーが誕生しました！**  
皆さんにはこれから多言語での情報発信や外国人コミュニティとの連携など、様々な場面で活躍してもらいます！

## 友好都市ドイツ・ラウンハイム市 トーマス・ユーヘ市長追悼

友好都市ドイツ・ラウンハイム市のトーマス・ユーヘ市長が2022年12月12日にご逝去されました。(享年59歳)

ユーヘ氏は2000年にラウンハイム市の市長に就任されてから、2度本市を訪問し、ライン祭に出席されライン博士の顕彰に努めるとともに、2017年には友好都市提携20周年を記念し両市間で再調印を行うなどラウンハイム市と白山市の友好の発展に尽力いただきました。また、近年はウクライナへの人道支援を訴え自ら支援物資を届けるため現地に赴くなど、世界平和への熱い想いをもっていらっしゃいました。

トーマス・ユーヘ氏のご功績と両市の友好関係へのご貢献に深く感謝を申し上げますとともにご冥福を心よりお祈りいたします。



◀友好都市提携20周年再調印時のユーヘ市長(右)と山田市長(2017年10月)

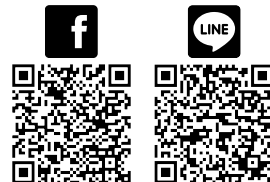
▶ウクライナへ支援物資を届けるユーヘ氏(右から2人目)(2022年3月10日)



## 白山市国際交流サロン利用ガイド

開館時間 9:15～18:00  
 休館日 月曜日（月曜日が祝日でも休館）  
 場所 〒924-0872 白山市古城町2（松任文化会館カルチャー棟2階）  
 TEL/FAX 076-274-3371  
 E-mail misalon@asagaotv.ne.jp  
 HP https://hia-salon.jp/

国際交流サロンのSNSでつながりましょう。  
 LINE公式アカウントではイベント情報をお知らせしています。



### わいわいカフェ

#### 「日本のコンビニ」 11月25日（金）

日用品から食品まで、日本のコンビニはとにかく品揃えが豊富。コピー、料金の支払い、証明書の発行などサービスも充実しています。このような24時間営業の日本のコンビニは外国人にも大人気です。皆さん、おすすめのスイーツ、好きなおにぎりなど紹介してくれました。「海苔付きの三角おにぎりは開けるだけで面白い！」との意見もありました。

#### 「若者文化&日本の冬の行事」 12月18日（日）

この日は金城大学の学生さんが講師となり、「推し活」や「日本の俳優」などといった日本の若者文化について教えてくれました。



日本の冬の行事については、お節料理やお年玉、年末年始の挨拶について話しました。みんなで福笑いにも挑戦し、できあがった顔に苦笑いしつつ、楽しく交流しました。

#### 「お正月の生け花体験」 1月15日（日）

日本の文化体験として、「生け花体験」を開催しました。



初めに、講師から生け花の花材（松、菊、スターチス、カーネーション、結び柳）とお正月に飾る理由について説明を受けました。その後、参加者は講師のアドバイスをもとに思い思いに花を生け、素敵な作品ができあがりました。

### にほんごカフェいしかわ

11月27日（日）

今回のテーマは「祝日」。カレンダーで見えていても何のお休みが知らない外国人が多く、日本や母国の祝日の違いについて話しました。



その後は、体育館でバトミントンを楽しんだり、地域の「石川まち歩きプロジェクト委員会」の皆さんから、さつまいもチップスの差し入れをいただいたりと、外国人の皆さんにとって子どもからお年寄りまで幅広い地域の皆さんと触れ合える貴重な機会となりました。



### くれよんカフェ

#### 「お弁当・おにぎり作り」

10月14日（金）

- いろいろな具材や調味料を準備し、混ぜこみおにぎり作りに挑戦！おにぎりを握ったことのない外国人ママも、日本人ママ達に教えてもらい、上手に三角おにぎりを握ることができました。



#### 「ヨガでリフレッシュ」 12月16日（金）

- 毎日、家事に育児に大変なママ達にリフレッシュをしてもらうために、大人向けのヨガ講座を行いました。
- 子どもたちもママの所へ来て一緒にヨガに混ざったりと、アットホームな雰囲気の中でヨガを教えてもらいました。講師の先生はいつもくれよんカフェに参加してくださっている方で、参加者とサロンとで作り上げた特別な会となりました。

### 一緒に交流しませんか♪

#### 【わいわいカフェ】

毎月のテーマ内容にそっておしゃべりする、交流型のクラスです。共通言語は「やさしい日本語」です。食べ物や習慣など、日本と母国の文化についてみんなで“わいわい”盛り上がっています！

- 毎月第3日曜日 13:30～15:00
- 毎月最終金曜日 10:00～11:30

#### 【くれよんカフェ】

外国人・日本人の子育てママたちの交流の場です。日本と外国の子育ての違いや、入園・入学など日本での育児に必要な情報などについてみんなで話しています。お子さん連れも大歓迎♪

- 第2金曜日 10:00～11:30  
(2か月に1回開催)

## バドミントン交流会

10月16日(日)

スポーツにより言葉の壁を越えた交流を深めようと、松任総合運動公園において「バドミントン交流会」を開催しました。

当日は、日本人・外国人併せて9ヶ国35名の方が参加し、くじ引きでペアを決めた後、総当たり戦で試合を行いました。楽しく交流するペアや本気でプレイするペアなど様々で、中にはバドミントンをするのは初めて、という参加者もいましたが、歓声と熱気があふれる交流会となりました。

参加者からは「久しぶりに運動ができて楽しかった!」「来年も開催して欲しい」、などの声がありました。ベトナムやジンバブエなど国籍がばらばらで言葉は通じなくても、スポーツを通して楽しい時間を過ごすことができました。



## 安楽庵お茶会

11月13日(日)

秋の午後、外国人8名が安楽庵でのお茶会に参加しました。あいにくの雨でお庭に出られず、“つくばい”でのお清めも体験できませんでしたが、日本文化サポーターの皆さんから「一期一会」「和敬清寂」などの言葉を習い、お茶の世界に触れることができました。

最初は緊張していた参加者たちも、サポーターさんからの「正座が大変だったら足をくずしても良いですよ。楽しんでください。」との言葉に、リラックスして楽しめたようです。初めて抹茶を飲んだという参加者も、「甘いお茶菓子と一緒に飲むと苦いお茶も美味しい」と感想を言っていました。



## 国際交流員エヴァンさん大活躍!

### 世界の料理教室「アメリカのクッキーとココアをつくろう!」

12月4日(日)

福祉ふれあいセンターにおいて、エヴァンさんによる料理教室を開催し、親子5組が参加しました。

当日は、クリスマスの時期にアメリカでよく作られるアイシングクッキーとホットココアを作りました。子どもたちはクッキーの型抜きとデコレーションに挑戦! 食べるのがもったいないくらい、可愛いクッキーがたくさん焼きあがりました。ホットココアは子どもにははちみつたっぷりの甘いココアを、大人にはジンジャーパウダーを振ってスパイスが香るココアを作り、みんなで楽しみました。

クッキーが焼けるまでの間、エヴァンさんからアメリカでのクリスマスの過ごし方を聞きました。参加者のみなさんは、「アメリカではケーキは食べない」や「チキンではなくターキーを食べる」といった話に驚いていました。



### クリスマス特別企画

#### 「エヴァンさんと英語で話そう!」

12月25日(日)

クリスマス特別企画として、エヴァンさんとフリートークを楽しめるイベントを行いました。「英会話へのモチベーションを上げたい!」「子どもに英語に触れてほしい」とたくさんの方からお申し込みをいただきました。

個人で参加、または、お友達や家族みんなで参加いただき、各々が約30分間、英語でエヴァンさんとの会話を楽しみました。「日常生活で英語を話す機会が全くないので、英語のアウトプットができる機会があってよかった。」と喜んでいただけました。



## 雪体験バスツアー

2月12日(日)

白山の雪を体験するために吉野谷セミナーハウスに行ってきました。ベトナム、フィリピン、中国、インドネシア、アメリカ出身の外国人、日本人ファミリー、共生交流部会のサポーターさん計32名が参加しました。当日は天気も良く、そり滑りや雪合戦、雪だるま作りなどをして、おもしろい遊びました。

昼食のメニューはおにぎり、おでん、ぜんざいで、おにぎりはみんなで手作りし、楽しく交流しました。おでんを初めて食べた外国の方は「玉子が一番美味しい。」と笑いながら、日本の冬の食文化を体験しました。

雪が降らない国から来た人たちが多く、参加者から「寒いけど、楽しかった」、「天気が良く、日本の集落をゆっくり見ることができて嬉しいです。」といった声が聞かれました。



## 友だちの輪 (外国人市民を紹介するコーナーです)

### グエン チー マイさん(ベトナム出身)

ベトナムから参りました グエン チー マイ と申します。日本に来てもうすぐ7年になりますが、白山市には去年の8月に引っ越してきたばかりです。

白山市に住むことができ、自分はラッキーな人だと思います。

ここは冬が寒いですが、災害が無いところなので安心です。

白山市の人も優しく親切です。

市役所は市民の生活のことに対してとくに気を配っています。いろんなサポートがあるので、嬉しくて感謝いたします。

これからもよろしく願っています。



# H.I.A. だより

## ハロウィンデー

10月30日(日)

松任児童館・松任図書館・国際交流サロン3館合同イベントの「ハロウィンデー」を開催しました。

当日は市内の小学生約40名が参加し、ALTの先生たちによる読み聞かせやハロウィンバッグ作り、ハロウィンにちなんだゲームなどを楽しみました。

▶英字新聞を使って、ハロウィンバッグを作りました。

▼ハロウィンフルーツバスケットの様子。



▲ハロウィンの英語絵本読み聞かせの様子。ALTの先生たちはクレオパトラや忍者など、個性的な衣装で参加してくれました。



▶松任駅・城址公園前をパレードして自慢の衣装を披露！子どもたちは「トリックオアトリート！」の合言葉でお菓子をもらいました。



## 国際交流の集い2022

12月11日(日)

年末恒例の「国際交流の集い」を、松任公民館軽体育室で開催しました。

当日は着物・民族衣装のファッションショー、日本語のスピーチなどのステージ発表のほか、中国やベトナムなど各国のテイクアウト商品の販売、六星さんの餅つき大会など大いに盛り上がりました。

最後はインドネシア出身のワイアンさんによるバリ舞踊披露があり、本場の素晴らしい踊りに皆さん大きな拍手を送っていました。



▲餅つき体験は大人気！日本の年末を感じられました。



▲各国のテイクアウト商品販売。参加した外国人の皆さんはお客さんとの交流も楽しんだようです。



▲お箏体験コーナーでは、サロンで指導されている川畑康子先生が丁寧に教えていただきました。



▲バリ舞踊を披露するワイアンさん。衣装も豪華で素敵でした。

## 海外親善友好都市の生徒と動画メッセージ交流

2月9日(木)

海外の親善友好都市の学生と白山市内2つの小中学校の生徒が動画交流を行いました。

参加した石川小学校と鳥越中学校の生徒たちは、自分たちで海外に向けた動画の内容を考え、昨年秋までに英語による学校案内や白山市の名所、日本の文化などの紹介を収めた動画を作成しました。その動画を海外5都市に送ったところ、アメリカ、中国、オーストラリアの3都市から返事の動画が届きました。動画には、自己紹介や各都市の学校生活の様子が撮影されており、視聴した石川小学校の生徒からは「校庭が広くて羨ましい」や「瀋陽市の生徒数が多くて驚いた」などの感想が聞かれ、海外の学校生活に興味津々でした。



▲瀋陽市からの動画では、小学校の大きさや楽しそうな学校行事の様子が伝わってきました。



▲コロンビア市からの動画では、小学生が地元の名所を紹介しています。



▲白山市から送った動画では、石川小学校4年生が白山市の紹介や白山クイズをしました。

## ホームステイ交流OBコーナー

市では親善友好都市3都市と中学生・高校生を対象にホームステイ交流を行っています。(2020年よりコロナ禍で休止中)本コーナーでは、かつてホームステイ交流事業に参加したOB・OGの皆さんからのお便りを通して、青少年期に体験した同事業との関わりについてご紹介しています。

まつうら みきこ  
**松浦 美紀子さん**

袋井市在住(旧姓・田方)。高校2年生時に1993年(平成5年)第1回豪州ペンリス市高校生派遣事業に参加。県外の大学を卒業後、ソフトウェア会社への就職を経て、結婚後に静岡県へ。現在、中学3年生と高校2年生になる長男長女とともに暮らす。

..

... ..

### 「子供たちへつなぐ思い」

私がオーストラリア・ペンリス市へ派遣事業に参加したのは高校2年生の時でした。偶然にも、現在高校2年生の娘がニュージーランドにホームステイに行くことが決定し、もうすぐ出発します。30年前の体験を振り返りながら娘に話すことになるとは、思ってもいなかったことです。

私は第1回目の派遣高校生として参加させていただきました。英語が苦手科目になっていたにも関わらず、高校生の派遣事業が始まるということで衝動的に応募したことを覚えています。

ホストファミリーはとても優しく、一緒に笑えたり、コミュニケーションが取れた時のことは、オーストラリアの素晴らしい風景を見たことより鮮明に思い出すことができます。

また、活動の中では楽しい思い出がありますが、今のままじゃダメだと気づかされ悔しい思いをしたことも同じ程ありました。ペンリスハイスクールの生徒の大人びた様子に気後れし、話してみれば同じ高校生なのに見た目だけで違うと思ひ込み、その違いをなかなか受け入れられなかったこと。聞き取れない時、言いたい事を伝えられない時、笑って誤魔化そうとしていたこと。日本の事を何も知らなかったこと。英語力不足と、文化や人を理解しようとする協調性のなさに気がつきながらも、向き合うことが出来ずにモヤモヤとしたものが残り続けていました。

その後、結婚、子供2人が小学校に入り、私が英語を学ぶことは無いな、と思っていた頃、夫の海外出向が決まり、家族で3年間アメリカに行くことになりました。家族で行くことを決めたのは、私のホームステイでの思い出が海外で生活するという不安を打ち消し、家族で日本と海外の違いを経験できる、とワクワクさせてくれたからです。異文化を受け入れるのは子供の方が早く、学校にもあつという間に慣れ、子供から教えてもらうことも多くありました。私のモヤモヤとしたものもアメリカ生活の中で違いを認めながら、気がつけば薄れていったように思います。

娘にはホームステイで現地の家族と一緒に生活をするを通して、言葉を学ぶだけでなく、食事、文化の違いを体験してきて欲しいな、と思います。30年前と違い、海外の情報を簡単に得られるようになりましたが、そこに行かないと感じられないものが必ずあると思います。それが何なのか、帰ってきた娘と話をすることが楽しみです。

私の経験を子供たちに繋ぐことができたように、今後の白山市の国際交流がますます繋がっていくことを願っています。



▲当時のホストシスターたちと一緒に



▲さよならパーティーにて

◎派遣生OBの皆さんからの投稿をお待ちしています。市役所国際交流室 toshikouryu@city.hakusan.lg.jpまで。

# H.I.A.からのお知らせ

令和4年度会費を納めていただいた特別会員(企業・団体)の皆さんです。厚くお礼を申し上げます。(敬称略、50音順)

No.	名称
1	(株)あさがおテレビ
2	(株)浅野太鼓楽器店
3	石川情報交流事業協同組合
4	(株)EIZO
5	エス・ディ・エス(株)
6	学校法人 金城大学短期大学部
7	(株)加藤建設
8	協和道路(株)
9	近畿日本ツーリスト(株) 金沢支店
10	グランドホテル白山
11	(株)三光製作所
12	(株)車多酒造
13	(株)新日本ツーリスト

No.	名称
14	(株)スノーエリアマネジメント白山
15	千代野建設(株)
16	(有)ツクダ自動車
17	鶴来商工会
18	鶴来ライオンズクラブ
19	手取川七ヶ用水土地改良区
20	トウエイ工業(株)
21	(株)トスマク・アイ
22	(株)永瀬商事
23	(株)西川電機工業所
24	ニッコー(株)
25	(株)日本旅行 金沢支店
26	能登印刷(株)

No.	名称
27	白山石川ロータリークラブ
28	白山市北消防団
29	白山市スポーツ協会
30	白山市町会連合会
31	白山市日本中国友好協会
32	白山市文化協会
33	白山商工会
34	白山商工会議所
35	白山市ロシア協会
36	白山青年会議所
37	白山ロータリークラブ
38	(株)羽田合金
39	(有)フジタ印刷

No.	名称
40	弁護士法人 兼六法律事務所 白山事務所
41	北國観光(株)
42	(株)北國銀行松任支店
43	前田印刷(株)
44	松任市農業協同組合
45	松任ライオンズクラブ
46	(株)マップ
47	美川商工会
48	美川ライオンズクラブ
49	(株)メープルハウス
50	NPO 法人 YOU-I
51	(株)六星

以上51社(団体)

## CIR(国際交流員)をご活用ください!

市民や市内の各種団体が取り組んでいる事業にアメリカ出身のエヴァン・ローステッター国際交流員を派遣します。「異文化を理解するきっかけに」「外国人の視点が聞きたい」等、国際交流・異文化理解推進にご活用ください。



◀加賀野公民館での「英語で遊ぼう!」のようす。  
10名ほどの小学生が参加し、アメリカの文化紹介や簡単な英語を用いたゲームを行いました。

派遣申込みの詳細については、市の国際交流室ホームページよりご覧になれます。活用方法についても、お気軽にご相談ください。

(これまでの派遣先: 保育所、児童館、小学校、福祉施設、老人サロン等)

## 英語の絵本読み聞かせ

松任図書館で英語の絵本の読み聞かせを行っています。ABCの歌や手遊びもして楽しい会となっておりますので、ぜひご参加ください。



### 「ハローリトルワールド」

市内在住の外国人による外国語の絵本の読み聞かせ

日時: 毎月第3水曜日10:30~11:00

対象: 0~2歳

### 「ABCの会」

市内のALT/EI(外国語指導助手)による英語の絵本の読み聞かせ

日時: 毎月第2土曜日11:30~12:00

対象: 特になし

\*会場はいずれも松任図書館2階 おはなしルーム

\*感染予防のため、各回5組まで



## 青少年ホームステイ交流派遣生募集

今夏、白山市親善友好都市に派遣する学生を募集しています。ご興味のある方は応募説明会にお申し込みください。

【中学生対象】イギリス・ボストン町

対象: 市内在住の中学2・3年生(派遣時)

期間: 7月18日(火)~28日(金) 10泊11日

定員: 6名 費用: 約30万円(自己負担分)

申込期間: 3月20日(月)~29日(水)

応募説明会(要申込)

3月14日(火) 19:00~20:00 松任文化会館ピーノ



【高校生対象】オーストラリア・ペンリス市

対象: 市内在住の高校1・2年生(派遣時)

期間: 7月25日(火)~8月5日(土) 11泊12日

定員: 10名 費用: 約20万円(自己負担分)

申込期間: 3月29日(水)~4月21日(金)

応募説明会(要申込)

3月28日(火) 19:00~20:00 松任文化会館ピーノ



## イベント情報&お知らせ配信中!

サロンの公式LINE、またE-mail会員にご登録いただくと、楽しいイベント(世界の料理教室、国際理解講座など)のご案内や協会からのお知らせが届きます。

ぜひご登録ください!



【メール会員】

[misalon@asagaotv.ne.jp](mailto:misalon@asagaotv.ne.jp)へ、ご住所、お名前の明記と「E-mail登録希望」と書いて、送信ください。



【LINE友達追加】

こちらの二次元バーコードからご登録ください▶



## 編集後記

今年は約3年ぶりに海外派遣事業の再開に向けて動き出しています。サロンにも多様な国籍の方が訪れるようになり、ますます交流が活発になっていきますね。(S)

発行 ■白山市国際交流協会(Hakusan International Association)

事務局/白山市役所観光文化スポーツ部国際交流室

TEL 076-274-9520 FAX 076-274-9546

E-mail: [toshikouryu@city.hakusan.lg.jp](mailto:toshikouryu@city.hakusan.lg.jp)

白山市国際交流サロン

TEL・FAX076-274-3371 E-mail: [misalon@asagaotv.ne.jp](mailto:misalon@asagaotv.ne.jp)